

「オーケストラと心に響くひと時を」

セントラル愛知交響楽団 浜松公演

指揮：角田鋼亮

ユーフォニアム：小寺香奈

管弦楽：セントラル愛知交響楽団

2021年

8月11日 水

18:45開演 (18:00開場)

アクトシティ浜松大ホール

A席 2,000円 B席 1,000円

U25 (25歳以下) 各席種半額 (全指定席・税込)

《プログラム》

ディーリアス (編曲：フェンビー)

二つの水彩画

山本裕之

ディクトウム・ファクトウム

～ユーフォニアムとオーケストラのための～ (委嘱作品・世界初演)

ムソルグスキー (編曲：ラヴェル)

展覧会の絵

© Masato Okazaki

© Hikaru Hoshi

お問合せ

クラシック名古屋 052-678-5310

プレイガイド

アイ・チケット 0570-00-5310
<https://clanago.com/i-ticket>

HCFオンラインショップ <https://www.hcf.or.jp/> (PC・スマートフォン・タブレット対応)

アクトシティチケットセンター (店頭販売のみ/10:00~19:00)

チケットぴあ

0570-02-9999

<https://t.pia.jp> (Pコード199-599)

ローソンチケット

<https://l-tike.com> (Lコード:43309)

7月2日(金) 一般販売開始

※ご来場にはマスクの着用をお願いいたします。※未就学児の入場はお断りいたします。※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が変更となる場合がございますのでご了承ください。

Profile

角田 鋼亮 (指揮)

Kosuke Tsunoda / Conductor



© Hikaru Hoshi

東京藝術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2015年より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕筰作品)が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年4月より、セントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓いている。2020年「令和元年度

愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。2021-2022シーズンのハイライトとしては、東京フィル「R.シュトラウス:ばらの騎士」、大阪フィル「ベートーヴェン:ミサ・ソレムニス」、セントラル愛知との「ブラームス:交響曲第4番」「シューマン:交響曲第3番」「ラヴェル:マ・メール・ロワ」があげられる。

<http://kosuketsunoda.com>

小寺 香奈 (ユーフォニアム)

Kana Kotera / Euphonium

東京藝術大学卒業、及び同大学大学院修了。ヤマハ新人演奏会出演。埼玉県警察音楽隊ユーフォニアム奏者を経て、現在はソロのほか、国内主要オーケストラや吹奏楽団のエキストラ、室内楽など多方面で活動している。月刊誌「バンドジャーナル」のワンポイント・レッスンを執筆(2009年度)。ユーフォニアムを稲川榮一、外園祥一郎、三宅孝典の各氏に師事。近年は現代音楽の分野でも積極的に活動を展開しており、国内外の作曲家とのコラボレーションを通して、ユーフォニアムの新しいレパートリーの開発に力を注いでいる。これまでに、日本、ドイツ、ニュージーランド、アメリカなどで新作初演を含む現代音楽作品の演奏やレクチャーを行った。2013年度海外派遣によりケルンに留学。アンサンブル・ムジークファブリック、ケルン音楽大学現代音楽研究所で研鑽を積む。留学中、メルヴィン・プーア(Ensemble Musikfabrik チューバ奏者)、クリスティン・チャップマン(Ensemble Musikfabrik ホルン奏者)、ミハエル・ユングハンス(ケルンWDR放送交響楽団 バス・トロンボーン奏者)の各氏に師事。2016年にはユーフォニアムとしては初となる、全曲現代音楽作品によるCD「ディスカヴァリー・ユーフォニアム」をリリース。レコード芸術誌「準特選盤」、音楽現代誌「推薦盤」などに選ばれた。和歌山大学准教授。



© Masato Okazaki

セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。2021年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

新型コロナウイルス感染症対策 ご協力をお願い

※チケット半券には、ご来場のお客様のお名前とご連絡先を必ずご記入ください。※発熱や体調不良の場合、過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある場合、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域の在住者と濃厚接触がある場合はご来場をお控えください。※マスクを着用し、入場時の手指消毒・検温にご協力ください。(37.5度以上の発熱時は入場をお断りします。)*会場内での会話は極力お控えいただき、「ブラボー」などの掛け声はご遠慮ください。※終演後は時間差退場にご協力ください。※出演者への贈り物、面会はご遠慮ください。※クローカーはご利用いただけません。※ホール内の換気による外気との寒暖差が発生する場合がございますので、服装にご配慮ください。※感染拡大防止・安全性確保の観点から、観客席数を減少させていただきます。